

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 29, No. 1 ACTA UROLOGICA JAPONICA January 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第1号 1983年1月



遠隔成績からみた腎血管性高血圧に対する		
血行再建術の検討.....	川村 寿一・ほか...	1
いわゆる細胞性免疫能賦活剤を投与した膀胱腫瘍症例の検討.....	辻村 俊策・ほか...	9
泌尿器科領域の悪性腫瘍における血清 ferritin の検討 (第2報).....	和志田裕人・ほか...	17
膀胱腫瘍の臨床的検討.....	松浦 健・ほか...	23
旁腎盂囊腫の4例.....	池本 庸・ほか...	31
腎盂十二指腸瘻の1例.....	坂本 亘・ほか...	39
尿管アミロイドーシスの1例.....	飯泉 達夫・ほか...	45
小児尿管ポリープの1例.....	河東 鈴春・ほか...	53
尿管腫瘍の2例 —CT像を中心に—.....	宇都宮正登・ほか...	59
膀胱憩室腫瘍の1例.....	岡村 武彦・ほか...	67
女子尿道下裂の1例.....	小林 徳朗・ほか...	73
公立豊岡病院泌尿器科における臨床統計		
(1979年1月~1981年12月).....	荒井 陽一・ほか...	77
尿路結石に対する猪苓湯および芍薬甘草湯の排出促進効果.....	鷲塚 誠・ほか...	83
Cefoperazone (CPZ) の前立腺組織内への移行		
—特に組織採取部位の差について—.....	福島 修司・ほか...	87
泌尿器科領域における Cefmenoxime (CMX) の臨床的検討.....	田中 寛・ほか...	95
前立腺再燃癌 Stage D に対する Tegafur の		
長期投与効果について.....	吉田謙一郎・ほか...	105
泌尿器科手術後の消化管運動に対する Prostaglandin F _{2α} の効果.....	東 義人・ほか...	113

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁 帯 出

到着後 1ヶ月間

編 集 後 記

新年おめでとうございます。

今年は亥の年です。猪は進むを知って退くを知らぬ、猛進あるのみと思われており、事実その猛進するときの迫力はものすごいものだそうですが、平常はおとなしい、用心深い動物だそうです。

今の日本は、医学界は猪突猛進する時期ではなく、足元をしっかりと見据えて、一步一步堅実に歩む時だと思えます。21世紀へ向けて、社会は大きく変わりつつあり、それに伴っているいろいろな変化がわれわれの周辺にも生じております。われわれは慌てず騒がず、冷静に着実にそれに対処しなければならぬと思えます。

皆様の御健康と御活躍を心より祈っております。

(O. Y.)

購 読 要 項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みれば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB 5版 400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ii) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする、英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直または返却を指定する権限を保持する。

3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第29巻 第1号 1983年1月25日 印刷 1983年1月31日 発行
発行人 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入